

第7期介護保険支援計画 医療・介護の整合性の確保に向けて

H37 サービス必要量推計の機械的試算（H28病床機能報告からみた追加的需要をもとに）

H29.12.19
介護保険事業支援計画策定委員会

	松江	雲南	出雲	県央	浜田	益田	隠岐	県計
①追加的需要数	357.3	116.4	277.4	86.75	162.2	90.03	8.09	1098.17
介護療養病床数	97	105	0	66	69	55	16	408
× 80%	77	84	0	52	55	44	12	324
医療療養 25:1	130	0	261	0	40	44	0	475
× 17%	22	0	44	0	6	7	0	79
②介護医療院対応数	99	84	44	52	61	51	12	403
③在宅医療等対応数	258.3	32.4	233.4	34.75	101.2	39.03	0	699.08
在宅対応数	200.9	27.77	162.1	22.98	89.33	18.21	0	521.29
老健対応数	12.3	4.63	38.9	3.36	0	7.81	0	67.0
特養対応数	24.6	0	6.48	1.68	11.91	3.90	0	48.57
老人ホーム対応数	12.3	0	25.93	6.73	0	3.90	0	48.86
その他対応数	8.2	0	0	0	0	5.20	0	13.4

厚労省が示す、療養病床の医療区分1の70%と、地域差解消分を合計した2025年の数

日慢協の予測から、介護療養病床の80%と、医療療養病床(25対1)の約17%が、介護医療院へ転換すると試算

③在宅医療等対応数＝
①追加的需要数－②介護医療院対応数

病床機能報告の退院先割合から、圏域毎に、在宅・老健・特養・老人ホーム等対応数を試算



県から提示した機械的試算値をベースとし、各圏域での医療・介護の現状を踏まえ、サービス必要量について圏域で議論していただいている。